

第8回 三重大学・天満荘セミナー

「南海トラフ地震の津波から命を守るために」

第1部 尾鷲の防災意識調査



「減災・早期復興のカギは地域の“つながり”」

三重大学生物資源学部4年 畑中麻緒



「防災とは、今をよりよく生きること」

三重大学地域創生戦略企画室 研究支援員 山村水帆

市民の皆さまにご回答いただいたアンケート「地域防災に関する意識調査」の集計結果と傾向をご報告するとともに、防災力向上につながる地域コミュニティのあり方、防災への取り組みが日常にもたらす変化についてお話しさせていただきます。



第2部 具体的な避難を考えるワークショップ



「災害情報可視化による地域防災力強化」

三重大学地域創生戦略企画室 教授 坂本竜彦



「“超リアル避難マップ”で検証! マイベスト避難ルート」

三重大学生物資源学部3年 伊藤寛高

尾鷲市街地を3D(立体)マップデータで再現。南海トラフ地震による津波の浸水深を「見える化」して被害を視覚的に体感できます。また、皆さまから任意でご提供いただいた住所情報や避難場所を3Dマップに重ね合わせ、一人一人にとって最適な避難場所と避難ルートを検証するワークショップを行います。



2020年2月21日(金)

昼の部：14時～16時 夜の部：19時～21時 ※内容は同じ

場所：天満集会所(尾鷲市天満浦) 参加費：500円(おしるこ付)

[お問い合わせ]

三重大学地域創生戦略企画室 / MAIL: tats@bio.mie-u.ac.jp (坂本)

天満荘 / TEL: 0597-22-7880 (金曜～月曜 10時～16時)

主催：三重大学地域拠点サテライト東紀州サテライト・三重大学地域創生戦略企画室・NPO法人天満浦百人会
この催しは「内閣府 i-都市モデル事業(災害情報可視化による市民・行政の都市再生・まちづくり意識向上調査)」の一環として行うものです。

昼もやるけど
よるしやべ

よるしやべとは？
大学が何してるのか、どんな研究してるのか、地域の皆さんとゆるくお話し合う企画です。夜にしゃべろう、よるしやべ。